

平成26年度予算見積調書

課室名：産業支援課
 担当名：産学連携・新エネルギー産業担当
 内線：3736 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B16	知的財産・産学連携総合支援事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	産学連携推進費	
事業期間	平成12年度～	根拠法令	中小企業新事業活動促進法、知的財産基本法第6条 科学技術基本法第4条	戦略項目		07	世界水準の中小企業		
				分野施策		030101	がんばる中小企業の支援		
1 事業概要 今後の成長分野や本県の産業構造の特徴を踏まえ、中小企業の新技術開発や新規産業への参入を促進するため、相談、マッチング支援から研究開発、事業化までのトータルの一貫した支援を行う。 知財を活用した産業振興や産業活性化を図る。 (1) 産学連携支援事業 4,089千円 (2) 知的財産総合支援センター埼玉運営事業 13,266千円 (3) 発明奨励 426千円 (4) 特許出願促進事業 420千円 (5) 埼玉県科学技術会議の開催 186千円 (6) 次代を担う子どもたち育成事業 155千円 (7) 埼玉県産業振興公社人件費 19,437千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 産学連携支援事業 産学連携支援センター埼玉の運営 イ 知的財産総合支援センター埼玉運営事業 知財アドバイザー経費他 ウ 発明奨励 発明創意くふう展経費他 エ 特許出願促進事業 特許出願補償金他 オ 埼玉県科学技術会議の開催 委員謝金等 カ 次代を担う子どもたち育成事業 体験教室開催負担金 キ 埼玉県産業振興公社人件費 埼玉県産業振興公社における関連事業に係る人件費 (2) 事業計画 ア 産学連携支援事業 (ア) 産学連携コーディネーターの配置 (イ) 産学連携相談、産学連携マッチング支援、競争的資金獲得支援等の実施 イ 知的財産総合支援センター埼玉を運営し、知財のワンストップサービスを提供する。 ウ 埼玉県児童・生徒発明創意くふう展を開催する(展示会：10月)。 エ 県立試験研究機関の特許出願を促進する。 オ 科学技術会議を開催する(年3回)。 カ 科学技術体験教室を開催する。 (3) 事業効果 ア 産学連携支援事業 (ア) 企業のあらゆる相談、マッチング支援から研究開発、事業化までをワンストップで総合的に支援し、中小企業の新技術開発や新規産業への参入を促進。 (イ) 実績：産学連携マッチング支援数 平成23年度：348件、平成24年度：307件、平成25年度(9月末)：152件。 イ～カ 科学技術の振興により県内企業の新たな技術の開発を支援し、さらに新技術の知財面の強化でさらなる競争力の向上が図れる。また、科学技術への県民の理解や科学技術を担う人材の育成につながる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 埼玉県産業振興公社と連携					
2 事業主体及び負担区分 県10/10									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3人=28,500千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	37,979							37,979	1,471
前年額	39,450							39,450	